

香南市役所

伝言板

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです



3月31日(月) 防災対策課 ☎57-8501 災害時に利用できる電力確保に向けて

ライフラインが途絶えるような大規模災害発生時に、電力が確保できることを目的に、株式会社ヒワサキから、プロパンガス専用発電機が寄贈されました。

地域社会貢献活動の一環として、行われた今回の贈呈式。寄贈された発電機は、プロパンガスを燃料としているため、燃料の劣化が少なく、家庭で使用しているガスボンベが使用できるなど、災害時の電力確保に活用されることが期待されます。



4月3日(木) 防災対策課 ☎57-8501 防災・減災アドバイザー再任式

平成24年度より香南市の防災対策に取り組んでいただいている高知大学農学部教授の原忠氏が2年間の任用期間を終え、このたび再任用されました。

これまで南海地震についての講演や津波避難対策の学習会などを市内各地で行い、市内の防災意識の向上に貢献された原氏。これからの2年間も香南市内で講演や小学校などでの防災教室、避難道の安全対策等に取り組む予定です。



防災対策課 ☎57-8501

防災行政無線の整備が始まります

防災行政無線の放送設備(スピーカー設備)の設置工事が決まりました。

市内全域をカバーできるよう、150カ所以上に順次設置していく計画です。

災害時などの情報伝達の要である設備ですので、速やかに確実な作業を進めてまいります。

工事期間は下記を予定しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■予定工事期間
7月1日(火)～27年3月31日(火)

市職員の懲戒処分について(お詫び)
このたび、自動車運転過失傷害罪で執行猶予付き禁固刑が確定した本市消防士について、停職8カ月の懲戒処分いたしました。
人の命を守る立場である消防士が、このような事態を招いた社会的な影響は重大であり、市民の皆様にご迷惑をお詫び申し上げます。
今後はすべての職員に対し、安全運転義務の更なる徹底を図りますとともに、綱紀の粛正と再発防止に努めてまいります。

香南市長 清藤真司

叙勲

瑞宝双光章

社会福祉功勞

浜崎貞義さん
(88歳 吉川町)



浜崎さんは、昭和34年から平成21年にかけて約50年間、民生委員・児童委員や社会福祉協議会の役員として地域住民の様々な相談に応じ、親身に助言を行ったり、高齢者の安否確認などに努められました。
また、必要な場合には関係機関への橋渡しを行うなど、積極的な取り組みが行われ、地域福祉の向上に多大な貢献をされました。

Hot News Now

城山高校体育館へ雨水貯留飲用水造水装置設置 災害時の水確保へ



▲地元住民も集まり、使用方法を学びました

3月24日(月)県立城山高等学校の体育館に雨水を貯留してろ過し、飲料水として利用する装置が設置され、学校関係者や周辺の住民へ披露されました。体育館の屋根に降った雨を利用し、無動力で、水道や電気を使わないため、災害時にも利用できるこの装置。700ℓの貯水ができ、高いろ過能力によって飲料用の水として利用ができることが特徴です。

立ち会った今井洋一校長は「防災学習の時間に利用するだけでなく、日ごろから使えるようにしたい」と設置を喜んでいました。

2014光ウィーク高校ヨット選手権大会で優勝 風を制して頂点へ

3月26日(水)～29日(土)にかけて、山口県光市で「2014光ウィーク高校ヨット選手権大会」が開催され、全国から128名の選手が集まり、3日間8レースで競われました。

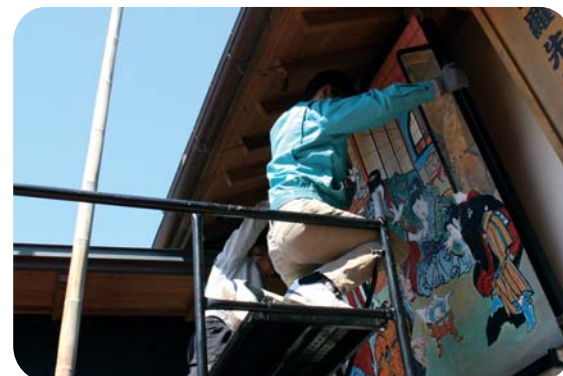
この大会に、香南ジュニアヨットクラブの中学3年生から高校2年生まで7人の選手が出場。高知追手前高校の林春風さん(夜須町)がみごと優勝しました。

ヨットレースは艇種ごとに、男女関係なく試合を行う競技。男子選手をおさえて初めて優勝した林さんは、「得意な風域でレースができてよかった」と微笑んでいました。



▲風が弱く、波が高い難しいコンディションを制しました

弁天座看板塗り替え 彩り、鮮やかに復活



▲傷つけないように慎重に掛けられました

4月14日(月)赤岡町弁天座に掲げられている絵金の芝居絵の掛け替えが行われました。

平成19年のオープン当時から、木戸口(正面玄関)で雨風にさらされ続けた芝居絵2枚は非常に色あせた状態。これらを約2カ月かけて塗り直し、鮮やかな色が戻ってきました。

弁天座スタッフは「お客さんから一番目につく場所にあり、絵は芝居小屋にはなくてはならない存在。これからの催しでお客さんも迎えるためにもふさわしくなった」と満足していました。

Topics